

2010年1月1日～2020年12月31日の間に 当院において微生物検査を受けられた方へ

—「臨床検体より分離される *Staphylococcus aureus* における Clindamycin 誘導耐性株の 分子疫学調査」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座
准教授 萩谷英大

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学 教授 大塚 文男
岡山大学病院 臨床検査部 微生物検査室 主任検査技師 飯尾 耕治
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 大学院生 Lutfun Nahar

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

細菌感染症は臨床現場において頻繁に遭遇する疾患です。中でも黄色ブドウ球菌はさまざまな感染症を引き起こすため、適切な治療のためには正確な薬剤感受性試験の実施が必要不可欠です。黄色ブドウ球菌の一部は、誘導耐性という抗生物質耐性メカニズムを有しており、通常の検査に加えて、追加検査を必要とする薬剤があることが知られています。

本研究では、岡山大学病院で治療を受ける患者さんから分離される菌株のうち、そういった特殊検査を必要とする菌株の分離頻度を調べるとともに、その責任遺伝子の検出率を明らかにすることを目的としたものです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により、より適切な感染症治療を提供することが可能になります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2020年12月31日の間に岡山大学病院において微生物検査を受けられた方(約300名)を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2021年3月31日

3) 研究方法

2020年6月1日～2020年12月31日の間に当院において微生物検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに黄色ブドウ球菌の検出データを選び、抗生物質誘導耐性に関する試験を行い、さらに責任遺伝子の検出率について調べます。

4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている菌株を使用させていただきますが、氏名、生年月

日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 検体の種類（喀痰・便など）
- ・ 菌株検出状況（入院・外来）
- ・ 微生物検査の菌種同定・薬剤感受性情報

6) 外部への試料・情報の提供

該当ありません

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院総合内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年1月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

氏名：萩谷英大

電話：086-235-7342（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-235-7345